

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## も く じ

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| □介護人材育成と越境体験の成果…………… 1P   | □給食再現キャンペーン…………… 3P |
| □マネジメントセミナー実施報告…………… 2-3P | □インフォメーション…………… 4P  |
| □中学生レストラン実施報告…………… 3P     |                     |

## 介護人材育成と越境体験の成果

当法人では昨年度より、マイチャレンジ・インターンシップ（以下、マイチャレ）に参加する高校生の受け入れを始めています。マイチャレとは、高校生を対象とした企業インターンシップ制度のことで、主催の一般社団法人アスバシ（以下、アスバシ）では、高校生と企業がつながる機会を創出を目指すと同時に、高校生が自分の可能性を知る「越境体験」の機会と位置付けています。この特徴は、授業や部活動、塾など一生懸命取り組む高校生の誰もが参加できるよう、夏休みの1～3日間＋3日間（事前／事後学習、報告会）で実施されています。また、昨年度より本プログラムを取り入れた県立東海樟風高校（旧東海商業高校）も夏休み期間に合わせて行われています。

今年度は、この2つのプログラムを合わせて計5人の高校生を受け入れました。初日に担当課より、市民協働施策のレクチャーを受けたのち、市民活動団体や介護や障がい者支援NPOの皆さんとの対話を楽しむことができました。

マイチャレに参加した生徒より届いた礼状の一部をご紹介します。彼は通信制高校に通うごく普通の高校生で、今春に開催された介拓奨学生プログラム（以下、介拓）にて、デイサービスやリハビリ等介護施設実習を重ねて介護職員初任者研修課程を修了しています。さらなる越境体験を求めた彼の「これから社会人になる心構え」が綴られています。

（中略）実のところ「福祉のまちづくりって、なんだろう…？」といった感じで、どんな活動をしているのかは全然想像できていませんでした。しかし、インターンを通して、利用者と介助者といった関係性の介護とは全然違う、市民の「居場所」になれるようなまちづくりの福祉を知ることができました。誰も排除しない、一人一人を尊重しあうことで、より良い街を自分たちで作っていく活動を

している方々は、とてもイキイキしていて、どの方も温かいように感じました。

今後、介護職員初任者研修の資格を活かしてアルバイトを始めるにあたり、今回学んだ新たな視点も持ちながら、相手の気持ちを尊重して、利用者の方と接していきたいと思います。



介拓実習の様子

昨年度よりスタートした高校生を対象の介拓もまた介護人材育成プログラムを介した「越境体験」であり、私たちは、その成果の手ごたえを掴みつつあります。この成果発表を2024年3月に開催する予定です（会場は決まり次第、お知らせします！）。さあ、私たちと一緒に、若者たちの声に耳を傾けてみませんか？

さて、この介拓の運営資金は実行団体の拠出金で賄われています。他方、厚生労働省は地域ケア強化法（2017年）において「保険者機能強化推進交付金」及び「介護保険保険者努力支援交付金」を創設、制度の持続可能性の確保等を推進するための保険者支援が行われています。その一つに介護人材の確保に『介護サービス事業者・教育関係者等と連携して行う取組等の実施』があります。ぜひ、この越境体験がもたらす価値にスポットを当ててくださることに期待しています。市野恵

**私たちの活動は、みなさまの年会費や寄付で支えられています。「介拓奨学生プログラム」指定の寄付も受付中です。ぜひともご協力ください、よろしく願いいたします！**

- |       |   |
|-------|---|
| 【年会費】 | ○正会員／(団体) 15,000円 (個人) 5,000円<br>○準会員／(団体) 5,000円 (個人) 3,000円 |
| 【振込先】 | 三菱UFJ銀行 知多支店 (普) 1413965<br>特定非営利活動法人地域福祉サポートちた               |

## ■第22期 NPOマネジメントセミナー 報告 ～次世代スタッフの育成と交流を目指して 実務に活かせるマネジメントスキルを学ぶ～

前期は5月～8月までの月に1回の連続講座として開催。全4回延べ76人が参加した。

NPO法施行から20年以上が経ち、組織が成熟し、社内のガバナンスも整えられる一方で、NPOらしさとは何かを問う声も聞かれる。

知多半島のNPOの強みは、半島各所に点在する福祉系NPOの緩やかなネットワークであると言われる。その原点は「共通の学びの場」にある。これまでも互いの団体が課題を持ち寄り、それぞれの思いを話す場が、NPO同士の横のつながりをつくるきっかけにもなった。学びによる緩やかなつながりを生む機会として、全ての回に対話を目的としたグループワークを取り入れ実施した。参加者からは、同じ課題を持つ他団体との情報交換の場は、「NPOらしさ」を感じたとの声もあった。各回の内容は以下の通り。

### 5月1日 第1回 NPOスタッフのための働き方講座

講師：NPO法人起業支援ネット

代表理事 久野美奈子氏

今春からNPOで働き始めたスタッフを対象に、「NPOで働く人」のための基礎講座として、知多地域のNPOネットワークが構築された経緯やNPOで働く意義、人とのつながりを大切にする仕事だからこそ身につけたい基本的なマナーなどを学んだ。前半は当法人 代表理事 市野恵から、ボランティアからまちづくりへと発展してきた知多地域のNPOの成り立ちを伝え、講師からはこうした背景を踏まえ、自分達の団体が設立された目的でもある、どんな社会を目指し、どんな課題を解決するのかという思いが、理念には込められていることを伝えた。

また、NPOで働くために必要な「学ぶ力/考える力」「主体的に行動する力」「分かちあう力」をワークによって自己評価し、気づきとなった。

後半は、参加者同士で名刺交換などビジネスマナーを実践。ビジネスマナーとは形にとらわれすぎず、相手の立場に立って活用していくことが大切であると学んだ。（山森）



ビジネスマナーを意識し、名刺交換を実践する様子

### 6月19日 第2回 仕事に活かす質問力講座

講師：NPO法人起業支援ネット

代表理事 久野美奈子氏

「質問力」とは、疑問点を解消するだけでなく、日々の業務で適切な提案や正しい判断をするために必要な力である。また、相談においては、事実を正しく理解し、相談者の課題やニーズを引き出すためにも重要なコミュニケーションスキルとなる。

人と関わるときには、まず自己理解と他者理解が必要である。例え同じ職種や年代という共通点があっても、相手と自分は全く違う価値観を持っているということを認識する。ただし「違い」は相手や自分を否定することではなく、その前提に立って対話をするのが欠かせない。ワークでは、この「違い」を意識するため、バイアスチェックシートを使い、自分は経験やその時の感情でどんな偏見や先入観が働くのかを確認した。

また、実務において相談を受ける際に必要なことは、①相手のニーズが満たされ、現状が少しでも良くなっていくこと。②すごいと思われなくても一緒に相談者の見ている景色を見て作戦を考えるパートナーであること。③まず自分自身がきちんと話を聴いてもらうことが大切であると学んだ。参加者からは、「みんなが自分の思いを受け止めてもらってはじめて支援できると感じた。」との声があった。（山森）

### 7月13日 第3回 ファシリテーション基礎講座

講師：NPO法人まちの縁側育み隊代

代表理事 名畑恵氏

ファシリテーターの役割は、会議の参加者全員が内容を理解しながら議論が進められるよう、促すことにある。さらには、議論を見える化(ファシリテーション・グラフィックス)し、参加者のつぶやき(意見)を育て、互いに議論した上で合意形成を図る場をつくることが重要である。



ワークショップ成果物の発表の様子

具体的なファシリテーションの効果には、①意見が全体に伝わったかを確認できる。②話し合いの成果を確認できる。③話し合

いを刺激し活性化する。④水平的コミュニケーションができる。⑤当事者意識が芽生える。⑥感情的論争を避けることができる。⑦話し合いの流れが見えるという効果がある。

後半は、実際にファシリテーショングラフィックスの基礎である、ペンの使い方・書き方・構図などの技法を学び、ワークショップを行った。限られた時間の中でテーマ毎に役割を交代しながら、積極的に意見を出し合う様子が見られた。「現場の事例検討でファシリテーターをするため、早速持ち帰って実践していきたい。」など職場で学びを活かしたいとの声が多かった。(山森)

**8月6日 第4回 SNSを正しく学ぼう!**

**講師：一般社団法人ウーマンキッズ・ラボ**

**代表理事 向田邦江氏**

SNSとはインターネットを通じ、社会(ソーシャル)や人々と繋がる(ネットワーキング)ことのできるサービスである。市民活動団体においても連絡のやり取りや、活動を手軽にPRできる手段としてSNSは広く利用されている。

SNSにはそれぞれの特徴と注意点がある。例えば、Facebookは、登録制により相手がわかるが、タグ付けされた他人の投稿から自分の行動が分ってしまう。Twitterは、拡散性が速いが、個人情報漏れだすと止まらない危険性があるなど、理解する必要がある。また、SNS上では若者同士で通じる隠語が多く生まれているため、その世界を知ったうえで、大人は若者に対して聞く耳を持ち、SNSの怖さを伝えていくことが大切だという。参加者からは「SNSを正しく理解し、自分達の情報を届けたい人に届くよう、効果的に活用したい。」との声があった。

(山森)

**■星槎名古屋中学「中学生レストラン」開店!**

8月4日(金)星槎名古屋中学校料理部の学生による「中学生レストラン」が手づくりカフェAda-codaにて行われた。2015年にスタートした中学生レストランは、コロナ下に2年間の空白があったが、昨年度再開し、今年で6回目になる。



生徒自ら接客する様子

同中学校は2015年に不登校対応の「私立中学校誘致事業提案競技」において選定され開校した。当時の安部雅昭校長が講師として知多市を訪れた際、手づくりカフェAda-codaの活動を知り、子ども達の個性が表現できる場になると感じたことがきっかけ。飲食店は、調理作業だけでなく、ホール係、チラシをつくる係など、分担作業が必要となる。接客が得意な子、裏方が好きな子など、多様な役割がある。また営業時は直接お客様からの評価を頂けることも学びの一つであり、「おいしかったよ」という言葉は生徒達のやりがいにもつながっている。(安藤)

**■手づくりカフェAda-coda20周年記念企画「給食再現キャンペーン」にご協力ください**



寄せられた「給食メニュー」や「エピソード」は交流室に展示中

2003年6月にオープンした、手づくりカフェAda-codaは今年で20周年を迎えた。記念企画として、Ada-codaを応援して下さる皆様から、好きな給食の献立やエピソードを募集している。投票数が多かったメニューは12月11日(月)・13日(水)にワンデイシェフが再現メニューを提供する。

〈投票期間〉9月1日(金)~10月31日(火)

〈投票方法は以下の2通り〉

- ①SNSから投票  
Ada-codaのInstagramからDMでメッセージを送る。
- ②対面で投票  
知多市市民活動センターの交流室でふせんとペンを受け取り、記入する。

Instagramはこちら↓



# サポちた インフォメーション

会員のみならずから集まる情報を掲載しています。お気軽に情報をお寄せください。

## ■多様な人が活躍するまちづくり講演会

名古屋市錦二丁目で活躍する名畑恵さん(まちの縁側育み隊)を講師に迎え、全国各地の居場所やまちづくりのお話を伺う。申込は11月15日迄、下記コードより入力してください

〈日時〉11月23日(木・祝)10:00~11:50 (9:30開場)

〈会場〉東浦町文化センター

〈参加〉どなたでも参加可(定員100名)

〈申込〉(認N)絆 Tel0562-83-7563



## ■第2回SDGsパートナーシップフォーラム

地域に根差した空港を目指すセントレアは、SDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」を体現するため、知多地域の課題解決に向けた対話の場を開催する。

〈日時〉2023年12月2日(土) 13:30~17:00

※午前中に「セントレア見学ツアー」予定

〈会場〉中部国際空港内セントレアホール

〈参加〉知多地域在住・在学・在勤者、高校生・大学生、地域課題解決に意欲のある人、セントレアグループ社員 80名程度 参加費無料

〈主催〉中部国際空港株式会社、(一社)SCIフォーラム共催

## ■全国わかもののみちサミット

○オンライン事前企画~繋がる全国のユースカウンスル~

〈日時〉2023年10月22日(日) 13:30~16:30

〈申込〉<https://wakamachi.org/2023/09/13/online/>

○前日企画~若者と共につくる地域のあり方~

〈日時〉2023年11月18日(土) 10:00~17:00

〈会場〉菊川市役所東館プラザさくる

〈申込〉<https://wakamachi.org/2023/09/07/kikugawa/>

○わかもののみちサミット~子ども・若者参画の生態系をつくる~

〈日時〉2023年11月19日(日) 10:00~17:00

〈会場〉常葉大学附属中学校・高等学校

〈申込〉<https://wakamachikikugawa.peatix.com/view>

〈主催〉(N)わかもののみち 菊川市市民協働センター共催

## ■障害年金勉強会(参加費無料)

障害年金の基礎知識から請求のポイント、実際の受給事例を学んだ後、希望者には先着6名で個別相談会を開催する

〈講師〉久保将之氏 HP: <https://www.aichi-shogai.com/>

愛知障害年金相談センター所長、久保社会保険労務士事務所所長

〈日時〉12月20日(水)10:30~11:30

〈会場〉刈谷市総合文化センターアイリス 405・406会議室

〈申込〉(N)くるくる コーポレートサービス部

Tel0120-1-96960 担当:吉田・田口

申込はこちら→



## ■大学生 学習支援ボランティア募集

様々な事情により課題を抱える半田市内に在学する中学生の気持ちや悩みに合わせた学習サポートを行う大学生ボランティアを随時募集中(半田市委託事業) ※資格・経験不問

〈会場〉半田:月曜/青山:火曜/亀崎:木曜

〈時間〉各会場すべて17:30~21:00

〈その他〉ボランティア活動保険加入あり(自己負担なし)

1850円/回の謝礼あり(交通費含)

〈応募方法〉住所、氏名、生年月日、連絡先、大学名・学年

をambitious.network118@gmail.comへメール

〈問合せ〉(一社)アンビシャス・ネットワーク

Tel070-1646-0900

個別説明会の申込はこちら→



## ■ゆめじろうスタッフ募集!

私たち「ゆめじろう」は地域福祉に真剣に取り組む団体として地域に必要なサービスや活動を行う仲間を随時、募集中!

〈職種〉①知多南部基幹相談支援センターゆめじろう相談支援専門員

②ホームヘルパー

③グループホーム 支援スタッフ

④コロッケ販売員

〈活動先〉知多郡武豊町富貴字外面85-2

〈問合せ〉(N)ゆめじろう Tel0569-72-2963

Email: yumejirou@dune.ocn.ne.jp



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1  
知多市市民活動センター1階  
Tel 0562-33-1631 Fax 0562-33-1743  
Email spchita@ams.odn.ne.jp  
HP <https://sunnyday-cfsc.ssl-lolipop.jp/>



特定非営利活動法人

地域福祉サポートちた



## 手づくりカフェAda-coda スタッフ募集

就業は 10時~15時、週2日程度  
主に 接客・衛生管理等(資格不要)

サポートちたが運営するカフェは、地域住民が集い交流し情報交換の場として、日替わりシェフが提供するランチやフェアトレードコーヒーを楽しむことができます!